



第 90 回日本細菌学会総会 共催ランチョンセミナー (LS2)

日時：2017年3月20日(月) 12:40 ~ 13:40

会場：仙台国際センター 展示棟 第4会場(会議室3)

招待講演

演題：腸内細菌と食を介した腸内環境の形成と
健康・疾患

演者：医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト
國澤 純 先生

(要旨詳細は裏面へ)

- ※ 本発表後にイルミナ株式会社より関連製品をご紹介します。
- ※ ランチョンセミナーは整理券制となります。開催当日午前8時より展示棟受付付近にて整理券を配布いたします。
セミナー開始までご来場されない場合、整理券は無効となります。

■ セミナーに関するお問い合わせ先 contactJPN@illumina.com

- ※ 企業展示会場にて、次世代シーケンサー MiSeq システムを展示しています。
ぜひイルミナブースにもお立ち寄りください。

腸内細菌と食を介した腸内環境の形成と健康・疾患

医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト

國澤 純 先生

現在、細菌学の新潮流の一つとして、健康維持、疾患における常在細菌の役割が注目されている。特に腸管には腸内細菌もしくは腸内フローラと称される多くの常在細菌が存在しており、その数は我々の体を構成している細胞の数よりも多い数百兆個とも言われている。無菌マウスなどを用いた研究から、腸内細菌が免疫系を中心とした生体防御の発達において重要な役割を担っていることは周知の事実であったが、近年のゲノム解析を用いた細菌叢の解析技術の発達に伴い、腸内細菌は非特異的に生体の制御を行っているのではなく、特定の菌が特定の機能を制御していることが示されつつある。これらの機能と関連し、腸内細菌と宿主の不適切な相互作用は、炎症やアレルギーなどの各種免疫疾患、さらには生活習慣病などの発症要因となる可能性が示唆されつつあり、いまや腸内細菌は健康を考える上での最重要キーワードの一つになりつつある。本講演においては腸内細菌、さらには食との相互作用を介した腸内環境の形成と生体応答・疾患との関連について、医薬健栄研において取り組んでいる健常人を対象としたコホート研究を含め、最新の知見を紹介したい。